

2026年3月期第2四半期 決算概要のご説明

株式会社アトム
(証券コード 7412)

2025年11月13日

当社は、前事業年度第4四半期に居酒屋事業およびカラオケ事業を会社分割したことにより、店舗数が減少し、当中間会計期間における売上高は 14,996百万円(前年同期比 ▲3,194百万円)となりました。なお、前中間会計期間の居酒屋事業およびカラオケ事業の売上高は 3,004百万円です。

また、株主優待制度の変更に伴う本部経費の圧縮等により、利益面では一定の改善が見られ、営業利益は ▲185百万円(前年同期 +144百万円)、経常利益は ▲215百万円(前年同期 +101百万円)、当期純利益は ▲340百万円(前年同期 +175百万円)となりました。

2026年3月期 中間会計期間

(単位：百万円)

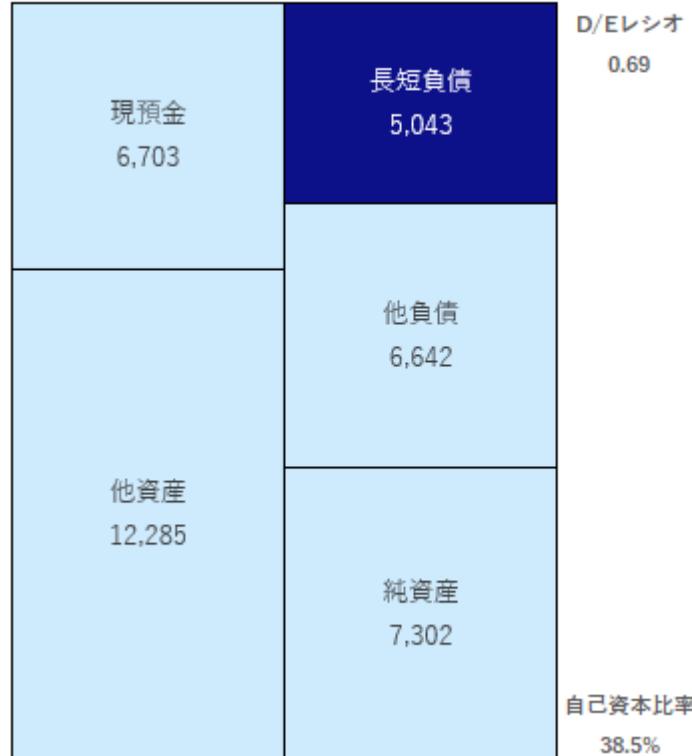
	2025年3月期 上期実績			2026年3月期 上期実績	前期比 増 減
		第一四半期	第二四半期		
売上高	18,190	7,129	7,867	14,996	▲3,194
営業利益	▲330	▲350	165	▲185	144
経常利益	▲317	▲368	154	▲215	101
税引前当期純利益	▲348	▲408	155	▲253	94
当期純利益	▲515	▲426	86	▲340	175
営業CF	105	▲486	206	▲280	▲386
投資CF	▲238	▲272	▲104	▲376	▲137
財務CF	373	▲1,180	▲551	▲1,731	▲2,104
期末残高	4,889	4,766	4,315	4,315	▲573

貸借対照表の状況

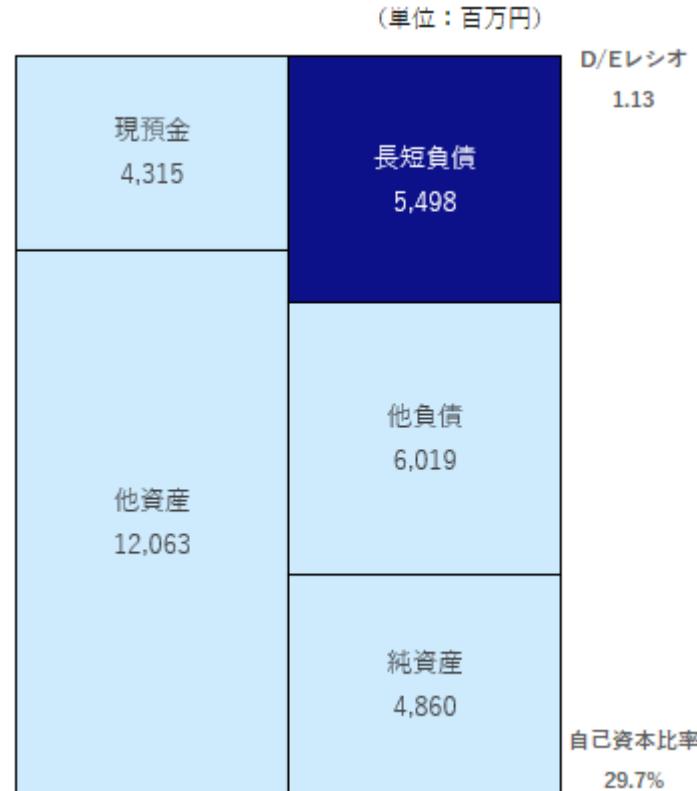
短期および長期の借入金(有利子負債)は、前期末比454百万円増加し、5,498百万円となりました。

また、2025年6月末に親会社である株式会社コロワイドが保有する当社B種優先株式の全部(20株)を強制償還したことにより、純資産は前期末比2,441百万円減少の4,860百万円、現預金残高は前期末比2,388百万円減少の4,315百万円となりました。この結果、自己資本比率は29.7%となりました。

2025年3月末



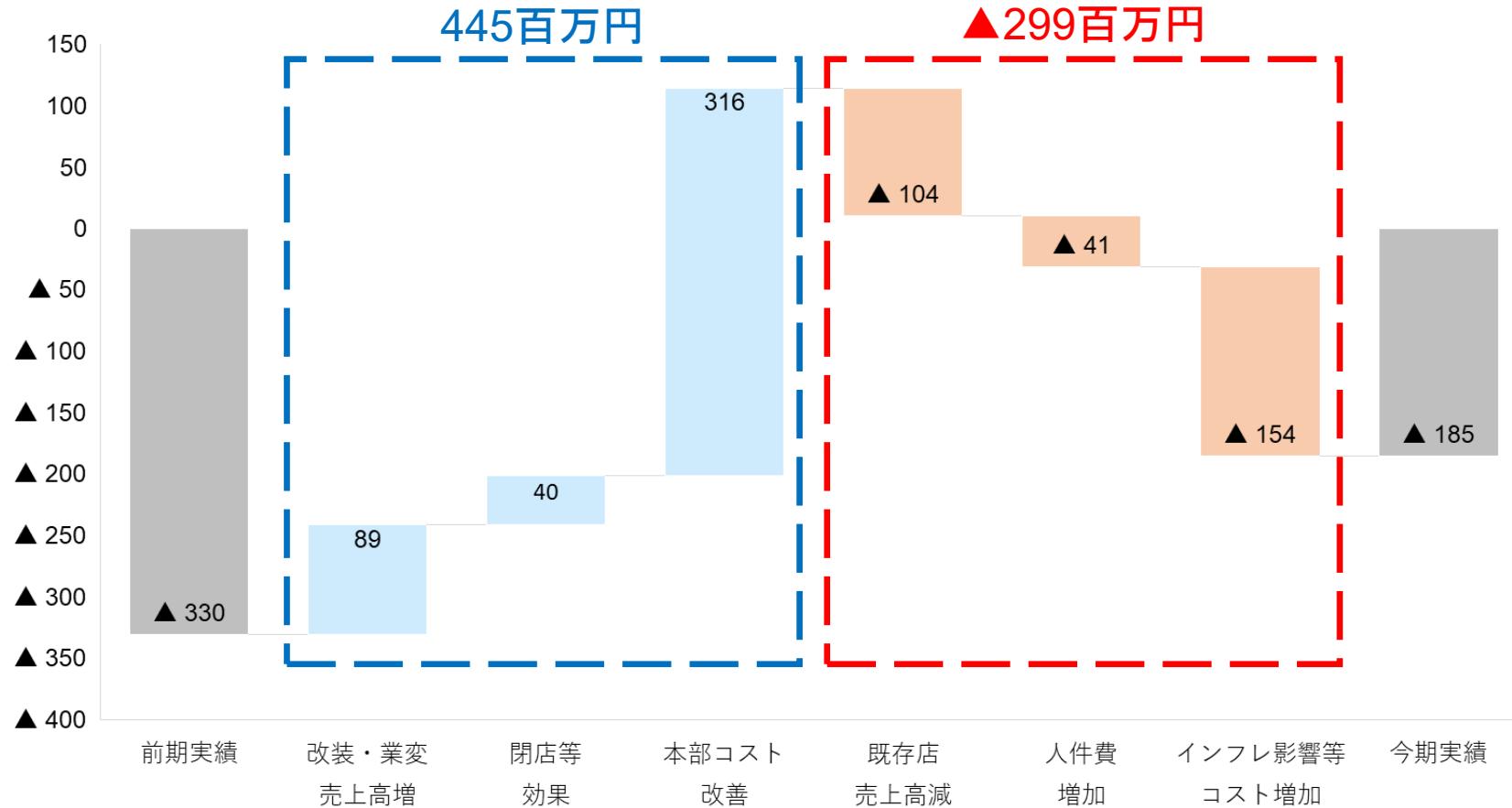
2025年9月末



営業利益の状況

改装、業態転換等による売上効果および株主優待制度の変更に伴う本部経費の圧縮等により、445百万円の営業利益の改善を図りましたが、既存店の売上減少、および、人件費の高騰、インフレ影響等により、営業利益は前期比+145百万円の▲185百万円となりました。

営業利益の要素別要因

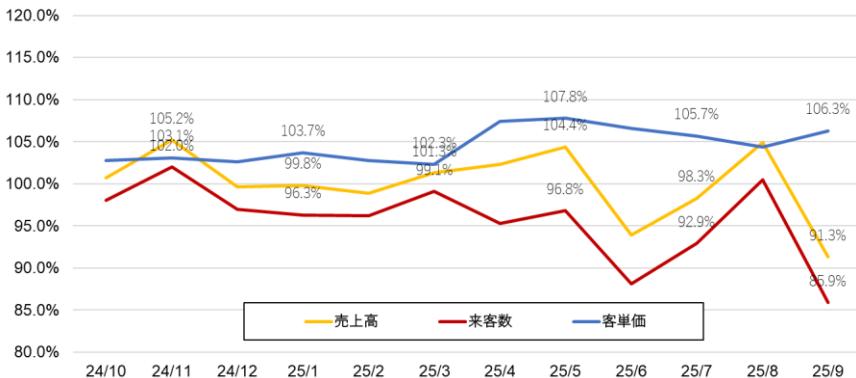


主要業態における売上高増の取組み

洋食・焼肉業態において、お客様満足度向上を目的に4月よりグランドメニューの変更を実施しましたが、洋食業態は価格改定による来客数の減少、焼肉業態では、コースの価格改定により客単価は維持できたものの客数が減少し、結果として売上高が減少。

洋食業態は、7月末にグランドメニューの改訂を行い、「ライスお替り無料」及び「ソースバーの復活」など来客者数の増加施策を実行中。

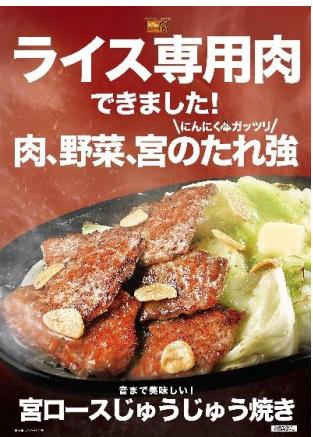
既存店前年比: 売上高・来客数・客単価



焼肉業態



洋食業態



寿司業態



店舗開発の取り組み

当中間会計期間において、新規出店1店舗（「にぎりの徳兵衛」）、事業譲受3店舗増加（コロワイドグループ会社である株式会社ベイ・フードファクトリーから譲受）、不採算店3店舗（「ステーキ宮」1店舗、「カルビ大将」2店舗）を閉鎖したことにより、当中間会計期間末の店舗数は248店舗（直営店238店舗、FC店10店舗）となりました。また、業態転換を1店舗（「味のがんこ炎」から「カルビ大将」）、改装を11店舗（「ステーキ宮」4店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗、「海鮮アトム」2店舗、「カルビ大将」3店舗、FC店「にぎりの徳兵衛」1店舗）行いました。

店舗開発実績

	2025年2Q	2026年2Q	差	詳細
新規出店	0	1	+1	寿司 1
改装	19	11	▲8	ステーキ宮 4、焼肉 3、寿司 3、FC 1
業態転換	2	1	▲1	焼肉 1
閉店	6	3	▲3	ステーキ宮 1、焼肉 2
譲受	0	3	+3	寿司 2、その他 1

新規出店 2025年7月

にぎりの徳兵衛（イオンモール東浦）



譲渡店舗 2025年4月

濱一貫（横浜ベイクォーター）



譲渡店舗 2025年4月

鮓処濱（馬車道）

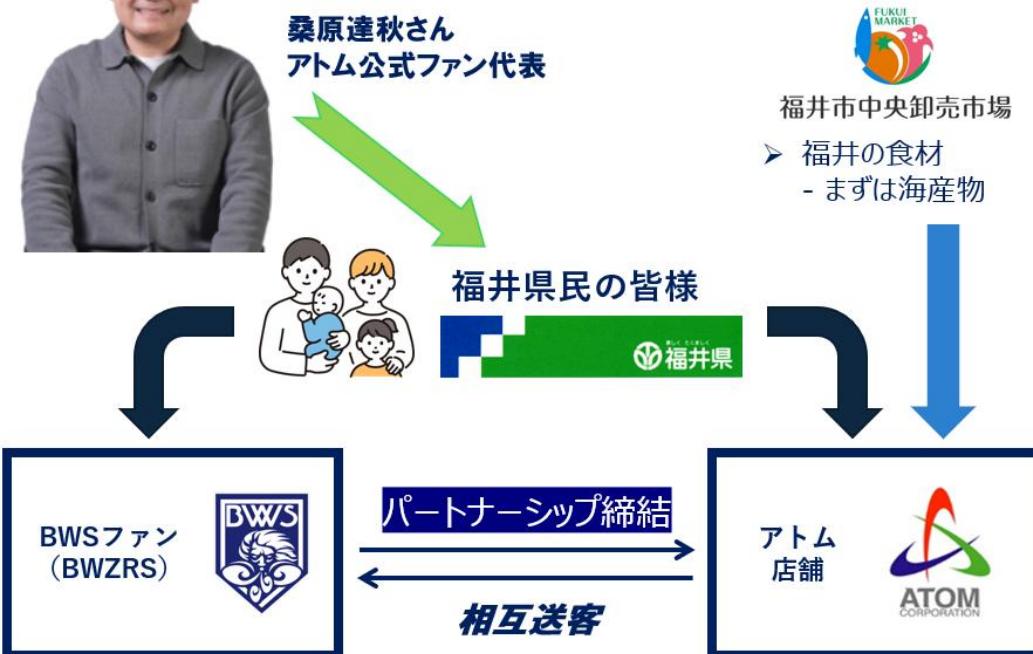


地方創生に向けた取り組み

当社は「すべてはお客様と従業員のために」という企業理念のもと、「外食としての原点回帰」を基本方針に掲げ、食の本質的価値を見直す取り組みを進めております。その一環として、新体制のもと、ローカルチェーンとしての特徴を活かし、創業の地・福井県を中心にPR活動を展開しており、地域との繋がりを深めております。具体的には、福井県のBリーグチーム「福井ブローウインズ」とのパートナーシップ契約の締結や、福井県を代表するタレントの桑原達秋さんを“アトム公式ファン代表”に起用するなど、地域との連携を強化しております。



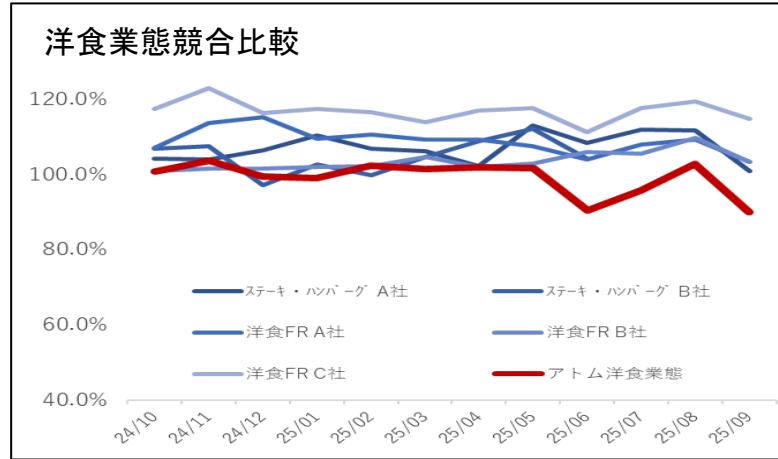
桑原達秋さん
アトム公式ファン代表



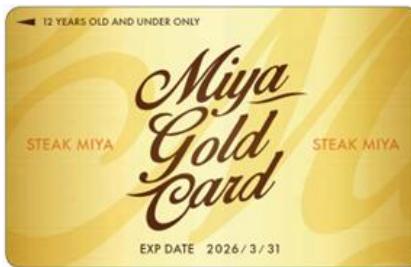
2026年3月期の見通しと下半期の取り組み

洋食業態の今後に向けた取り組み

既存商品・既存食材を活用したSNS映えする商品開発、小学生以下のお子様を対象にステーキが半額となる「宮ゴールドカード」を贈呈、および競合対策として一部店舗にてパン食べ放題を実施。



販売戦略



商品戦略



価格戦略

平日限定ランチメニュー

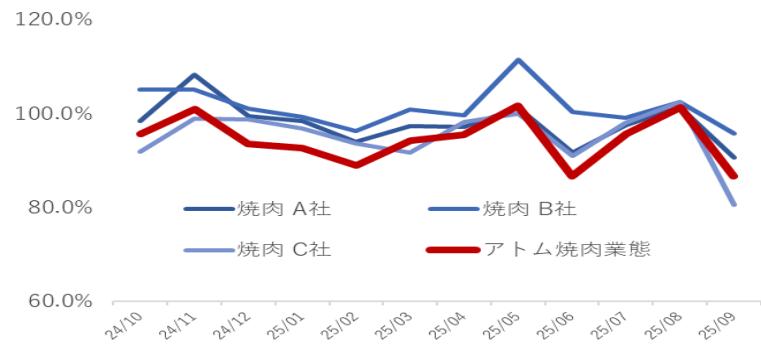


焼肉業態の今後に向けた取り組み

客単価向上施策「カルビ大将のカルビ大城」を実施、競合対策として愛知県の3店舗にて焼肉食べ放題1,980円を実施、およびシネアド実施映画館の拡大。

＜商品戦略＞

焼肉業態競合比較



＜販売戦略＞

シネアド



映画館チケットもぎり時に
500円クーポン配布



全国14映画館(119スクリーン)
宮城県、富山県、石川県etc.

＜価格戦略＞

本格焼肉 カルビ大将

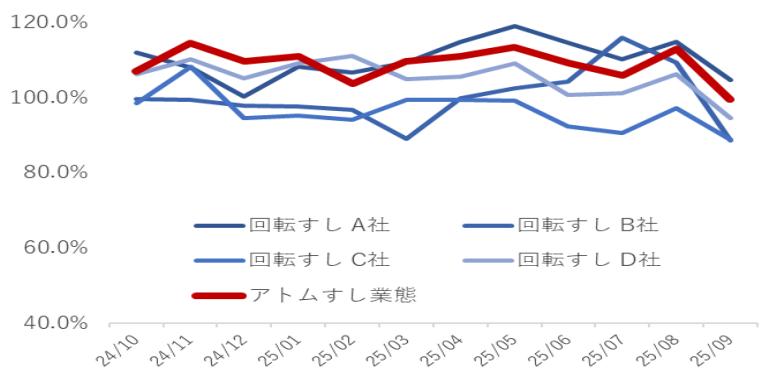
1980円で食べ放題!



すし業態の今後に向けた取り組み

「赤しやり」や「福井祭り」などのフェアを継続的に実施し鮮度感を訴求、および「姫丼」「姫つみ」「海鮮丼」で常連客の定着、お持ち帰りすし祭りの「極重」「極撰」で見映えを強化。

すし業態競合比較



＜商品戦略＞



＜販売戦略＞



＜差別化＞



店舗開発計画

当社は、下期において中長期的な観点より顧客ニーズの変化に対応し、新たな業態の新規開発を実施。また、不採算店舗の業態変更を積極的に実施。

	上期	下期	計
新規出店	1	3	4
改装	11	2	13
業態転換	1	4	5
期末着地店舗数	251		

＜新洋食業態の開発＞

2025年10月 仙台上杉に新規オープン



＜新焼肉しゃぶしゃぶ業態の開発＞

2025年12月 鎌倉市に新規オープン



2026年3月期の業績予想

2025年5月9日に公表した業績予想から修正はありません。

2026年3月期においては、競合他社との差別化を意識した商品強化と積極的な価格設定に加え、メディア露出やTVC等のPR活動、さらに創業の地である福井県を中心とした地域密着型のプロモーションを通じて、ブランド認知の向上と来店促進を図ってまいります。出店戦略においては、新規出店および出店立地の精査、経年店舗の早期改装による収益性の最大化に加え、本部コストの最適化、さらにコロワイドグループのシナジー効果を活かした業態間連携によるメニュー開発を通じて原材料価格の削減を推進するなど、各種施策を継続的に推進することで、売上高32,481百万円、営業利益933百万円、経常利益870百万円、当期純利益3百万円を見込んでおります。

(単位：百万円)

	2025年3月期実績		2026年3月期見通し			
	実績	構成比	見通し	構成比	前期比	差額
売上高	35,477	100.0%	32,481	100.0%	91.6%	▲2,996
売上原価	12,828	36.2%	12,081	37.2%	94.2%	▲746
売上総利益	22,649	63.8%	20,399	62.8%	90.1%	▲2,250
販売費及び一般管理費	23,320	65.7%	19,466	59.9%	83.5%	▲3,853
営業利益	▲670	▲1.9%	933	2.9%	-	1,603
経常利益	▲643	▲1.8%	870	2.7%	-	1,514
当期純利益	530	1.5%	3	0.0%	-	▲527

Appendix

業態の展開状況

都道府県別店舗数

青森県	5
岩手県	2
宮城県	9
秋田県	1
山形県	2
福島県	11
茨城県	16
栃木県	18
群馬県	9
埼玉県	8
千葉県	7
東京都	3
神奈川県	5
新潟県	6
長野県	13
山梨県	4
合 計	238 (10)

() は内FC店舗数



飲食事業

店舗業態	ブランド
洋食業態	ステーキ宮他
寿司業態	にぎりの徳兵衛、海鮮アトム他
焼肉業態	カルビ大将、味のがんこ炎
和食業態	かつ時
その他業態	小さな森珈琲他

地域別/業態別の店舗数

業態別/エリア別

	東北	関東	甲信越	北陸	東海	関西	中国	九州	計
洋食業態	19	52	11	4	13	7	1	3	110
すし業態	0	2	1	9	32	3	0	0	47
焼肉業態	10	10	8	9	27	3	0	0	67
和食業態	0	1	2	4	4	0	0	0	11
その他業態	1	1	1	0	0	0	0	0	3
	30	66	23	26	76	13	1	3	238
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食部門	30	66	23	26	76	13	1	3	238
カラオケ業態	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営店計	30	66	23	26	76	13	1	3	238
FC店	0	0	0	0	10	0	0	0	10
全店合計	30	66	23	26	86	13	1	3	248

2025年9月末時点

2025年3月期 期末店舗数	増減				改装	2026年3月期 9月末店舗数
	新店	譲受増	閉店	小計		
111	0	0	▲ 1	▲ 1	4	110
44	1	2	0	3	3	47
69	0	0	▲ 2	▲ 2	3	67
10	0	1	0	1	0	11
3	0	0	0	0	0	3
237	1	3	▲ 3	1	10	238
0	0	0	0	0	0	0
237	1	3	▲ 3	1	10	238
0	0	0	0	0	0	0
237	1	3	▲ 3	1	10	238
10			0	0	0	10
247	1	3	▲ 3	1	10	248

2025年9月末時点

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また本資料に掲載しております情報は、発表時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づくものですが、当社はその正確性・安全性を保障するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

今後の業績は、市場における変化や経済動向の変動など、さまざまな重要な要素により、当該情報とは大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

IRに関するお問合せ
株式会社アトム 経営企画部

E-mail: atom-ir@atom-boy.com
<http://www.atom-corp.co.jp/>